（様式１）

県立波崎柳川高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和６年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

一人一人の自己実現に対応した教育を実践する。

重点目標
(1) 生徒が社会的に自立するための実行力を育成する。
(2) 全生徒の進路実現を目指した授業を実践する。
(3) 地域社会や関係諸機関との連携強化と良好な教育環境を構築する。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

1 学年　自己理解
学び方を身に付ける　自分の強みを知る
2 学年　自己伸長
自分の可能性を広げる　目標に向かって強い意思をもつ
3 学年　自己実現
社会貢献できる力を身につける　自他を尊重する態度を身につける

総合的な探究の時間の学習評価

紐づけされたルーブリック表による７段階評価
ポートフォリオシートでの振り返りによる評価
活動発表の場による客観的な相互評価

生徒の実態

・明るく活発な生徒が多い。
・基本的な生活習慣が確立されておらず、マナーや身だしなみの整っていない生徒もいる。
・家庭学習の習慣が身についていない。
・教育的な支援が必要な生徒が入学している。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

○テキストを使うことで、生徒の発達段階に応じた対応をする。

○生徒の特徴を共有し、授業のユニバーサルデザインに関することについて周知する。

○単独探究の伴走者として、生徒の実践に寄り添う。

目指す生徒の姿

チャレンジする生徒
互いに高め合う生徒
心豊かで思いやりのある生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 学年
・探究：探究ナビ
2 学年
・探究：マイプロジェクト
3 学年
・探究：マイプロジェクト

オーナシップ（主体性）
　課題を自分ごととして捉え、意思をもって取り組む力
コ・クリエーション（協働性）
　異なる背景や価値観をもつ他者と協議し、価値を生み出す力
ラーニング（探究性）
　課題を発見し、問いや仮説を立てながら課題を解決していく力

学習活動、指導方法等

学習活動
　全学年　テキストによる個別活動またはグループ活動
　1　オリエンテーション
　2　マイテーマ探し
　3　課題の設定
　4　情報収集、整理・分析
　5　アクション
　6　まとめ・表現
　7　次の探究へ

指導方法
　進路指導部が
　年間スケージュールを提示して、それに従って生徒が自主的に取り組むことができるようにサポートする。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

探究職員研修会・・・全職員
　ベネッセコーポレーションの協力で５月実施
探究運営委員会・・・教頭　進路指導部長　各学年進路担当者
　目指す資質・能力を醸成されているか確認する機会を企画する。４月・７月・12 月
探究担当者会議・・・担任
　目指す資質・能力が醸成される活動か整理・分析する。月に１回